

# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学1年生

【書名】  
カレーライスと  
まねきねこ

【著者名】  
荻田 澄子

【出版社】  
福音館書店



この本はねるまえにおとうさんによんでもらうほんでも  
いろいろなほんをよんでもらうけどこのほんが おもしろくてよく  
えがきよま しよきだなのうえにすわっているまねきねこ  
がうごいてかれえらいまをつくるのをてたててくれ  
るのがおもしろくてういえらんでしまいます。  
よんでもらったあとはいつのかにここにたてなうて  
わたしもおとうともくすりねむることかでき  
ます。

【書名】  
ぜったいに  
おしチャダメ  
ラリーとどうぶつ

【著者名】  
ビル・コッター

【出版社】  
サンクチュアリ出版

このえほんは、ようちえんでみつけた  
とてもきれいなものでおばあちゃんに  
からもらったたいせつなえほんです。  
このほんをおしチャダメとラリーが  
いいます。でもよんでいくと、ぼたんをお  
したくばちいます。そこのがとてもお  
もしろいです。とてもおもしろい  
んなので、みんなにもよんでほしいです。

【書名】  
動物 学研の図鑑  
LIVE ポケット

【著者名】  
今泉 忠明

【出版社】  
学研プラス



これは、おしチャダメとラリーのほんです。  
おしチャダメがたいせつにしていた  
けど、かそくてどうぶつえんへいっていき  
おしチャダメが「これおしチャダメ。たいせ  
つにつかっている。」といってくれました。  
「ぼくは、とてもうれしかったです。どうぶ  
つえんへいっていきはかたがらもっていき  
どうぶつのことをしらべています。

# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学2年生

【書名】  
エルマーと  
16ぴきのりゅう

【著者名】  
R・S ガネット

【出版社】  
福音館書店

わたしが、はじめて一人でよめた本です。一匹きのりゅうが、16匹きのりゅうだいと父さんと母さんをたすけるために、エルマーと、たびに出ます。あるい大人をたいじするページは、どきどきあくあくしてしんごうのエルマーになったようでした。とてもゆうきをもらえる本です。

【書名】  
はじめてのおつかい

【著者名】  
つっいより子

【出版社】  
福音館書店



わたしが小さいときよく読んでいた本です。どうして好きだったかというと、糸会本の中の女の子が、一人でかいものに行ってもドキドキするようすがつたおもしろいからです。糸会本の女の子がじぶんのこどもについて、女の子のかいものがあるとほっとしました。大きな本なので、なんども読みました。

【書名】  
いのちをいただく

【著者名】  
坂本 義喜

【出版社】  
講談社

ぼくたちは、まいにちたしさんの命をいただきます。いま、肉魚、やさいの命をかまがえに、ぼくたちは、生きいきそのありがたみをおすれすれに、まいにちいただきます。



# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学3年生

【書名】  
100万回生きたねこ

【著者名】  
さの ようこ

【出版社】  
講談社

この本のキャッチフレーズは、「100万回のいのちより、ただいちどのおいさを」というものです。お母さんがむかしからもっている、大すきな本です。自分でおいさをみつけて生きていくところがすきです。はじめはかわいそうだったけど、「さいごはしあわせにしないでいきました。わたしとお母さんが大すきな本です。」

【書名】  
ちきゅうの  
あゆみえほん

【著者名】  
山下 美樹

【出版社】  
PHP 研究所

わたしが、「ちきゅう、てどうしてまるいの、とか、さいしょにちきゅうにきた人とどうやってそだてられたのとかちきゅうは、とはなしているとおは「あちゃんか」プレゼントしてくれました。わたしは、もらった日に、5回くらいなんと「もよみました。れきしをして、本のたのしさをおしえてくれた、大切な本です。」

【書名】  
であえてほんとうに  
よかった

【著者名】  
宮西 達也

【出版社】  
ポプラ社



6才の弟が、ようち園からかりてきた本です。わたしは、ふだん見ない本ですが、家族で読んでみたら、とても感動したので、このティラサウルスシリーズをたくさん読みました。きらわれもののティラサウルスが、スピノサウルスの子どもと出会う、だんだんやさしくなっていく。さいごは、スピノサウルスのために死んでいくところが、感動しました。

# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学4年生

【書名】  
なぞなぞのすきな  
女の子

【著者名】  
松岡 享子

【出版社】  
学習研究社



この本の初めに「1988年「クリスマスプレゼント」お父さんより」と書いてあります。この本は、わたしのお母さんが7歳の時に、おじいちゃんからクリスマスにプレゼントされたものです。それをお姉ちゃんが1年生の時にもらいました。そしてまたそれをわたしが2年生の時にもらいました。今度は、わたしが妹にこの本をあげるつもりです。だからこれはわが家の宝本です。

【書名】  
いつか眠りにつく日

【著者名】  
いぬじゅん

【出版社】  
スターツ出版

この本は、おじいさんが買ってくれた本です。私は、絵が入っていない本は読もうともしませんでした。でも、お姉ちゃんが楽しそうに読んでいたので私も読んでみようかなと思って読んでみました。この本は主人公の虫がしゅう学旅行の途中で交通事故にあい命を落としてしまいます。そして案内人のワロがあらわれ未練を3つ解消しなければいけないと、虫に告げます。虫は未練を解消しようとするためにこなんにあいいます。こなんをのりえようとする時には、物語にのみこまれて虫といふにドドキワクワします。予想外のラストには、涙が流れそうです。

【書名】  
やさしさとおもいやり

【著者名】  
宮西 達也

【出版社】  
ポプラ社

ぼくが1年生のときに初めて読んで感動しました。なので、弟や妹にも読んでほしいと思ってかりました。夜ねる前にお母さんに読み聞かせをもらいました。すると、弟はなみだをながすほど感動していました。この本がいい。宮西さんのしょうりゅうシリーズの本をたくさん読みました。宮西さんの本は、わが家の宝本です。



# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学5年生

【書名】  
はらぺこあおむし

【著者名】  
エリックカール

【出版社】  
偕成社



この本は、ぼくが小さい時に買ってもらった本です。最初にぼくは、親に読み聞かせしてもらいました。話の内容はシングルで毎日たくさん食べ物を食べて大きくなって、最後に美しいちょうになる話です。前までは、親に読み聞かせしてもらっていたけど、今はいとこ達に読み聞かせしています。この本は、小さい時の思い出がっまたぼくの宝本です。

【書名】  
黒いギャング

【著者名】  
椋鳩十

【出版社】  
理論社

国語のじゅぎょうで椋鳩十さんの本を探している時にたまたま見つけて読んでみたら、椋鳩十さんの良さがたくさんつまっていて「すごいな」と思ったのを今でも覚えています。ぼくは、小さなころからさるが大好きでよく高さき山に連れて行ってもらいました。この話は、さるの話なので家族との思い出もよみがえるぼくの宝本です。

【書名】  
まんじゅうこわい

【著者名】  
北村 すみよ

【出版社】  
学研教育

昔買ってもらって何度も何度も読み返したぼくのお気に入りの本。まちゃんという人と強金がりの所がいっしょだと思いました。よく、妹と本の取り合いをしました。とてもおもしろいので笑いながら読んでいました。ぼくが笑いながら読んだ本は、一生、ぼくの思い出になると思います。

# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 小学6年生

【書名】

はなちゃんのみそ汁

【著者名】

安武信吾・千恵・はな

【出版社】



はなちゃんのみそ汁は、家族の関係だったり、と学べる部分があったりや、なけたりするのでお家には、小さいころからおいてありました。小さいころはお母さんたちに読んでもらってはいったものの、今では自分でも読めるようになったし、話の内容も理解することができるようになったので、よりいっそう感動することができるようになりました。

【書名】

いみちえん!

【著者名】

あさばみゆき

【出版社】

角川つばさ文庫

いみちえん! は、私がいろいろな小説を読み始めたきっかけの本です。いみちえんに出会ったのは、クラブ活動で紹介している人がいたからです。そして図書館を見ているといみちえんを見つけて、読んでみたらすごく面白くて私はいみちえんと小説、老ジャンシが好きになりました。そしていみちえんをほぼ全巻買いました。そして今現在ではいみちえん以外の小説もたくさん読んだりしています。なので小説を好きにしてくれたいみちえんに感謝しかありません。

【書名】

また、同じ夢を見ていた

【著者名】

住野 よる

【出版社】

双葉文庫

この本は、私が水泳の大会で良い記録を出した時に父が小説好きの私に買ってくれた小説です。とてもうれしかったのもあり、買ってもらうとすぐ読み始めました。すぐに話の中に引き込まれて、主人公の奈ノ花ちゃんと一緒に幸せを探せる心が温かくなるような感動できる物語で、ぜひ色々な人に読んでもらいたくなりました。何度も読みかえす度に私にと、大切な本になりました。



# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 中学1年生

【書名】  
ポチャッコの  
「道は開ける」  
～不安から自由になる  
行動法～

【著者名】  
D・カーネギー

【出版社】  
朝日新聞

私の宝本は、ポチャッコの「道は開ける」です。私がこの本に出会ったのは、お母さんがプレゼントしてくれたときです。  
この本には、前向きになれる言葉がポチャッコのさし絵と一緒にかいてあります。特に私の心に残っているのは、「ないものに目を向けて落ち込むより、あるものに感謝しよう。」です。いいものを求めるより、今持っているものの豊かさに気付くことが大切だと思います。この本を読んで、いつも前向きに生きていきたいです。

【書名】  
ええところ

【著者名】  
くすのき しげのり

【出版社】  
学研プラス



この本とは、作者のくすのきさんの講演を見に行くと、まに、出会いました。自分にはいいところがないと悲しんでいたあいちゃんに、友だちのともちゃんがいいところを見つけてくれるという話です。ともちゃんは、あいちゃんのいいところを見つけてくれて、あいちゃんはそのやさしさに気付いて…。友情ってすごいいいなあと感じられる本で、大好きです。よく妹達と読んでいます。私も、ともちゃんのように、友達のスてきなところやいいところ見つけられる人になりたいです。

【書名】  
探偵チームKZ  
事件ノート  
消えた自転車は  
知っている

【著者名】  
藤本 ひとみ、住滝 良

【出版社】  
青い鳥文庫

個性の強い天才男子4人と平凡女子1人の小学6年生達が自分達の知識を使いながら消えた自転車のなぞをおいかけます。  
小学4年生の時手に取り、読んでみると驚きでいっぱいでした。「私と2つしかちがわないのに、努力しているし、真面目で勇気があて、賢い人ですごい！」と私はこの本を読み始めてから、この本の人物達を目標に今まで努力してきました。この本は、私に目標というものをくれた大切な本なのです。それにこの本は、危険なシーンや仲間割れしそうなシーンなど、ドキドキしながら、楽しみながら読むことができ、今でも何度も読み返して元気をもらっている特別な本です。

# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 中学2年生

【書名】  
風に乗って跳べ  
～太陽と君の声～

【著者名】  
川畑 裕人

【出版社】  
朝日学生新聞社

この本は、中学校の図書室で出会った本です。当時サッカーを初めてばかりだった私にとって、大きな共感を感じた本でした。この本は「フラインドサッカー」を主題に主人公をはじめその仲間たちとともに、大きな目標に一つ一つ進んでいく物語です。最初はフラインドサッカーについて全く知らなかった主人公。しかし親友との再会により、少しずつこの世界にのめりこんでいきます。あがくの果てにフラインドサッカーはかかせない。重役も任せられることになり、主人公のチャレンジ精神や友達も大切にしようという思いは思わず涙を流してしまいました。どんなに苦しくても、どんなにつまらなくとも、途中でやめたりするのは、地道に選んでやり続けることの大切さ。様々なことを学ばせてくれた、私にとって、とても特別な一冊です。

【書名】  
わたしと小鳥とすずと

【著者名】  
金子 みすゞ

【出版社】  
あすなろ書房



私がこの詩集に出会ったのは小学校の教科書でした。それまではNHKで流れている歌だとばかり思っていたが、5年生の教科書に載っていて驚き、とても印象に残っている。「みんなちがって みんないい」と繰り返される言葉に、「私は私でいいんだよ」と繰り返し言ってもらえるようになって安心する。出来ないことがある、外見が違うこともそれは個性、それでいいんだよと語りかけてもらえる、そんな自分を肯定してもらえる一冊です。

【書名】  
ブルくんかなちゃん  
いもむしくん

【著者名】  
ふくざわ ゆみこ

【出版社】  
福音館書店

この本は、私がとても幼いころに聴いた自治会の音読放送で音読した本です。私自身がこの本を音読したいと申し込み、実際に放送で音読してもらった本です。もともとこの本が大好きで、毎日毎日母に読み聞かせをしてもらっていました。私が特にこの本が好きだったところか、この本に出てくる登場人物のかなちゃんという少女のペットのブルくんという犬です。本に描かれているブルくんの表情が、いつ見てもおかしくて言われたたびにずっと笑っていました。二人は読むたびに私のことを笑わせくれた。この本が私は大好きです。なので私にとっての宝本はこの本です。



# 宝本 エピソード

## 宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和4年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

### 中学3年生

【書名】  
私は私のままで  
生きることにした

【著者名】  
キム・スヒョン

【出版社】  
ワニブックス

ちょっとしたことで疲れてしまったとき、ほんの些細なことで傷付いてしまったとき、私が出会ったのがこの本です。「人生に完璧な答えはないけれど、どのような答えを出すにしても自分で責任を負えるならあなたの選択はすべて正しい」「あなたの苦しみは、自分で書いた適当なシナリオのせい」など、数々の名言に背中を押されながら、今日も頑張ろう!と思うことができました。

何よりキム・スヒョンさんの国境を越えた美しい価値観に圧倒されました。「国が違うから価値観も丸っきり変わってくるのかな?」と思っていたけれど、文面を見て、自分とうまく付き合えて、心が清らかな人だと感じました。

私は私のままで生きることにはようと思います。

【書名】  
あなたの1日が  
世界を変える  
今日が輝く  
「10の問いかけ」

【著者名】  
くすのきしげのり

【出版社】  
PHP 研究所

私は、この本には図書館にいるとき、偶然出会いました。この本は、「あなたの1日が生活を変えている」ということを、絵本として分かりやすくかかれています。人間性をテーマとしており、あなたの今日という1日の過ごし方が日々の和やかな家庭、学校、職場、地域社会をつくり、心豊かな国や平和な世界の実現につながるという言葉に、とても魅力を感じました。そして、この本から、思いや行動、希望や勇気、社会貢献、共感・共有、笑顔の大きな力と身にしみて感じることができました。今後の社会で、私は、今生きている時間を大切に、価値のある時間を過ごし、少しでも人の役に立てればと思います。これからも人間性を大切に生きていきたいです。

【書名】  
数学者の夏

【著者名】  
藤本 ひとみ

【出版社】  
講談社



中学一年生の時に初めてこの本を読みました。好きな本のシリーズの未来の話で、わくわくして読みました。好きな本のシリーズは文庫本で、中学生でも読みやすいですが、この本は分厚くて内容が難しかったです。中学の時に読んだ時は理解がしきれませんでした。その二年後に、読んだときは、内容の理解ができて、読みスピードが早まり、早く半分まで読み切りました。早く読みたい、終わりが早いという思いで一行一行でいいに読みました。読み終わると余韻に浸れたのはこの本が初めて、何回も読みたくなるです。